

G8のパフォーマンスはまだ不十分であるが、 トランスペアレンシー・インターナショナルは G8 アカウンタビリティレポートを歓迎する

2008年7月8日洞爺湖

トランスペアレンシー・インターナショナルの報道官、Jesse Garcia は6日から9日までIMCの現場に滞在しており、+81 (0) 90 9967 6076 もしくは e-mail:jgarcia@transparency.org でコンタクトが可能。

未だ多くの領域で G8 のパフォーマンスが過去の公約よりも不十分であるが、トランスペアレンシー・インターナショナル(TI)は、G8 が本日発表した前例のない「G8 アカウンタビリティレポート: G8 の腐敗防止コミットメントのレビュー」を歓迎した。レポートは、2002 年のカナサスカスサミット以来制定された腐敗防止のコミットメントを G8 に報告するべきだとして、トランスペアレンシー・インターナショナルが1年以上前から要求していたもので、今回、ようやく発表された。

トランスペアレンシー・インターナショナルの事務局長 Cobus de Swardt は、「G8 が市民社会に対する説明責任に対する要求に応えられることを証明したことを歓迎する。だが、レポートは同時にまだまだ道半ばであることを示している」と述べた。「腐敗は民主主義制度に傷つけ、公の意思決定を歪め続けると同時に、世界中の貧困と不平等を促進させ続けている」

レポートは驚くべきほど詳細にわたっている一方で、各国より提供されたデータは標準化されておらず、定量化および簡単な比較が難しい。そしてある特定の質問の詳細、たとえばイギリスの外国での贈賄の禁止の完全実施の失敗やドイツの国連腐敗防止条約の批准失敗等については、未だ限定された記述しかない。

ロシアがOECDの腐敗防止条約批准の意思を表明したことは、注目に値する。ロシアは、G8 諸国の中で唯一、企業及び公的部門の腐敗が高水準にある諸国による海外での贈賄を犯罪化するこの条約をまだ批准していなかった。ロシアの参加表明は大きな一歩前進である。

レポートは、8つの優先的な腐敗防止領域に関する各 G8 諸国の達成を俯瞰している。8つの領域とは、すなわち、(1)世界的な腐敗に対する法的なフレームワーク(国連

腐敗防止約)、(2)盗まれた資産の返還、(3)外国の企業による贈賄への闘い(OECD 条約)、(4)透明性と金融市場の悪用からの保護、(5)腐敗した個人の安全な避難所と資産の否定、(6)マネーロンダリングとの闘い、(7)貿易および調達
の透明性、(8)グットガバナンスとアフリカ、である。

トランスペアレンシー・インターナショナルは腐敗と率先して闘う市民社会組織である。

報道関係のコンタクト先:

日本:

Jesse Garcia / Toyako IMC

Mob +81 (0) 90 9967 6076

jgarcia@transparency.org